（廿七日夕刊）

磐城新聞

休刊 大祭第一第三日曜
定價 壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢
廣告料（一行五十錢指定廿錢増）
發行兼編輯印刷人 蓮沼龍輔
福島縣平町田町拾六
發行所 磐城新聞社
電話五六四番

平の選擧漫談〔上〕

平三生

町會議員の選擧も愈大詰に近づいて來た。各選擧關係者の繁忙が思ひやられる稀有の大暴風雨で選擧運動にも大分支障があつた事かと思つたら何ぞ知らんこれが却つて運動に絶好のチャンスと與へたのだとは、流石に人間が緊張してゐる時には抜け目がないものだと全く感心させられた、當選後も町政のためにこの「コツ」を御忘れなく應用して貰ひたい、これで陸上戰の外に水上戰といふ景物が出來た理で選擧戰上一段の光彩を添つたものだ

◇

もう潜行戰から肉彈戰へ正攻法から奇攻法に移つてゐるであらう、法律嚴格な束縛を加へてゐるが又それをくゞる合法的の方法が考へられてゐるだらうそれが進歩といふものだから致方がない、そして人間が緊張してゐる時には進歩が早い

△

日本人は昔から戰の好きなそして上手な國民だそのために外國から好戰國民などゝいふ普號を奉られたりしてゐる程だ、殊に肉彈戰だとか奇攻法だとかには尤もその本領を發揮する、旅順口の快死隊に血暫して志願したのが美談として殘されてゐるではないか、楠正成、上杉謙信、源義經、英傑秀吉皆奇攻法の名人だ、この血統を引いてゐる日本人だ選擧戰にだつてそれが出るのが本當だ大いにやるべし、肉彈戰可なり奇攻法更に耳あり官權も餘り法律などを眞向にふりかざして窶八ケ間敷い事は言はぬかよい見て見ぬ振りは武士の情といふものだ

◇

たれの方は大丈夫だ當選圈内疑なしなどゝ納まるものがあるならそれは甚だしい不必得だ、始めから當選するときまつてゐるなら選擧などする必要がない、どうだか解らないから戰ふのではないか

△

戰爭といふものはた互に敵の樣子が解らないから始まるのだ、斥候兵の報告位で大体の見當をつけてそして相方で慾目で自分の方が優勢だと思ふから戰爭が始まるのだ今日の樣に飛行機の上から相方の陣地を寫眞にとつてその優劣が手にとる樣に知り盡されては戰爭なんか出來樣はないのだ

◇

選擧は始めからおれの方が勝つと定まつてゐたのでは少しも面白くない面白くないものを金をかけてやる必要はどこにある

選擧は一つの道樂だ衣食位の樣な生活必須のものとは大分趣が違ふ衣食足つて禮節を知るものが道樂としてやるべきものだ

借金が返せなかつたり自分自身をも滿足に過ごせない者などはこういふ道樂に手を出すべきでない

△

選擧は闘爭本能の滿足だ野球やラグビーや將棋とその根本に於ては同じだ爭よ爭その爭に本能の滿足を得て快味を感ずるのだ、必ずしも勝敗の如何を考へる要はない、敗けたから全然價値がないかといふとさういふものではない、爭事即ち勝敗までの道程に於て充分の滿足を得てゐるのだからそれだけで價値があるのだ

だから勝敗にのみ捕はれずに戰の順序を踏んで凡ての戰術を識用して勿体ぶつてその過程を樂んで行くべきだ、金のかゝるのは致方はない、ばくちを打つたか金を捨てる人さへあるのだ

悔ひ

茨　涼香

享樂の巻
カフェーツバメ
天井一面は
田舍娘のかんざしと
見まちがう櫻の造花
たちこめた紫煙
グラスの林
ウエートレス達の
紅唇より出ずる
小唄　君戀し
春ならで味ふ
紅燈の緑酒
「乘ちやんたあがんなさいな」
「僕はのまんのだから
ウッチャッて置いてくれ給へ」
「ジャ私のましてあげるわよ」
彼の女艶子は
濃艶な手に
コップを取りあげて
口もとへたしつけた
俺の唇はふるへた
いやだ　いやだ
願を振つた
ダガ　ダガ
プーンと鼻つく緑の香
俺は目をつぶり
――緑の酒――
グット
のんでしまつた
噫々
俺の頭は亂れた
何事も悔はたそし
靜かに更け行く
紅燈の街

明日の吉凶

新暦五月廿八日
舊暦四月二十日

▲一白　油斷の生じ易き日氣をしめて咎なきを期せ▲二黒　樂の道をねらみても知らずしらず苦に陷る日▲三碧　退縮せず萬事進んで効果あり但し細心なれ▲四緑　八方より誘惑の手が伸び來る日動きは凶なり▲五黄　自儘の氣を生ずる時は物事失敗に歸すべし▲六白　口故に大事を敗る事あり默するが安全第一▲七赤　浮薄は潮流に捲き込まれぬ樣注意すべき日▲八白　高きに居て足もとの崩れを生じ易し内外注意▲九紫　樂觀は大敵勉むれば大抵の難事も遂すべし

講談　幕末狂恋記

(242)

渡邊默禪作
宮野歌春畫

雪江が東京を出發して我が屋敷へ尋ねて來たのを鐵舟は故意を梶原へ知らさず前のやうに話しかけてその氣を引いて見たのである芝居氣のない鐵舟の計ひが自然の芝居になつてとう〳〵大詰めでたし〳〵とけりがついた。東京から兄の勘太郎夫婦も出て來た、親分の音五郎も出降の神の走奴、與平も來た。音五郎は假親鐵舟はお媒妁此ゝ浦舟に帆を上げてと謡ひを納めたのは實に明治三年の秋であつた。雪江の戀は美しく成功した。彼が世話女房の丸髮に結びかへてきりしやんの片棲に紅い襷をかけたとき鬼といふ字を頭に冠つた梶原君といへども豈夫、にや〳〵脂下らざるを得んやである、傳馬町に望月治右工門といふ御傳馬役があつて其の株が浮いてゐたのを梶原が引受けて藩の驛遞事務を取扱ふ事になつた、長脇差肌のベランメーにはこんなのが適當である、今は大勢の乾分小方を抱へて大きな丁場を持つて親分々々と立てられてゐる、雪江は姐御、變り方が餘りに早い

或る日店先に哀れな袖乞が立つた

「どうぞハヤ御大家樣た慈悲にた助けくださりませ、長々の病ひに不具となつた難澁致して居ります後生てござります御功德でござりますた助けくださりませ」

女の聲である、續いて

「ホラ、何しやアがるへたつらぶると、ひやう、へうつへねえせ」と鼻聲で怒鳴るのが聞ねた。店先にゐた人足達が頻りに笑ひ立てるので裁縫最中のた雪ははかない業だと思ひ乍ら坐を立つて店先へ出て見た。汚ない女乞食が片輪車を挽いてよぼよぼと立つてゐる、車の上にはその亭主らしい鼻缺男、ふが〳〵と物を云ふか可笑しいので後から一團の餓鬼軍が石を投げつけ埃を浴せかけて頻りと挑弄ふのと立腹して罵り狂ひ突いた竹杖を振廻して追ふのであつた。乞食の顏を何心なく差覗いてお雪はハッと駭いた、姿こそ淺猿しく變り果てた紛れもない舊の機母のお萬、片輪車に鬼の如き敗殘の駭を盛つた男は番頭富松の成果である

た雪は一時惡夢に襲はれたやうな氣がした、あゝ恐ろしいものである目に見えぬ刑罰の神斧はかくまでに人の運命を殺ぎ取り削り落し不義の報を覿面に示すものであるか、と思ふと自づから成る恐れに打たれて胸は異しく悸き呼吸は塞る如くに感じるのであつた。今は他人知らぬ振をして通せばそれで濟むけれどもお雪の氣性として此儘に見逃す事はできぬ急いで店の者にいゝつけて勝手口に廻らせたやがて鳥目を紙に捻つて自身で出ていつて

「さあ手の内を進ぜませう」

と云ふとた萬は面糎にそれを受けて

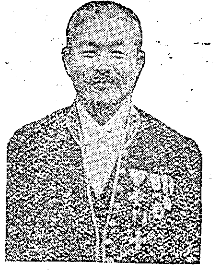
「ハイ〳〵有難う存じますお蔭樣で助ります」

とびよこ〳〵お辭儀をする

廣告

平町田町
高久病院
電話五一三番

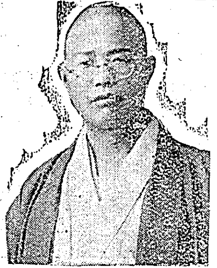
平町會議員候補者
青沼鋒太郎君は



自治行政の指導者として手腕、功勞ある同君を平町會に送るは多難の平町に一光明を與へるものとして何人か異存なかるべきを信じます、何卒各位の熱誠なる御援助によつて當選せしめらる樣懇願いたします

平町田町　市原卯太郎

町會議員候補者
馬目武之助君は



志操堅實にして識見高遠しかも奮闘努力の士にして我等の代表者として最も適任と存じ推薦仕候間何卒熱烈なる御同情と御援助を㈡賜り度く以紙上御懇願仕候

推薦者　平町大工町貳拾五番地　多田井笑次郎

平町會議員候補者
大森勇君は

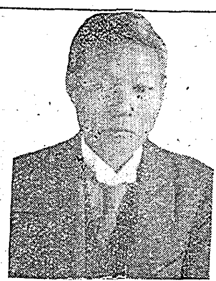
穩健中正の快男兒にして胸底常に愛町の純情に燃ゆる大森勇君を最適任者と認め平町會候補者に推薦し、貴下の熱烈なる御同情を懇願いたします

平町南町　沼田仙太郎

閉止四五ケ月も
確實流經
月經强力秘藥
小林博士發見
藥名 カブギン

アナタの
御心配になる
月經閉止四五ケ月以内に用ひ何らの副作用もなく安全無害の特殊流經作用を以て流經の目的を達する確實なる効果を有せり他藥効なく困難の方は即時試みあれ迅速なる其實際効力に驚かるべし
コレデ全く
御心配御無用
藥價四圓　頑固用七圓
郵便小爲替にて送金あれ密送す
平町田町
發賣元　宇佐美藥局
電八二七

平町會議員候補者
加納五郎君は



志操健實の實業家にして識見手腕群を抜き中正公平なる愛町の志士として既に定評ある同君を平町會候補者に推薦す、奮つて御援助の程懇願いたします

平町仲町　岡田弘成

町會議員候補者
高橋龜松君は

穩健中正の實業家にして胸底燃ゆる如き純情と愛町心を藏する眞劍誠直の士高橋龜松君を平町會に送るべく推薦いたしました奮つて御聲援の程を御願ひ致します

推薦者　平町白銀町　宮崎善太郎

㈢
平町會議員候補者
佐々木龍若君は

志操健實にして人格識見共に卓越し町治への功勞多き同君を平町會に送るは實に吾等の本懷である、平町百年の大計を建設する爲め有權者各位の御同情に愬ふ

平町仲間町　吉田鎭政

平町
紺屋町
吉田眼科醫院

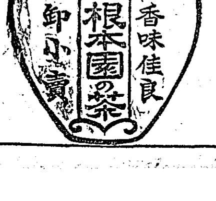
内科、小兒科
外科一般、婦人科
外科、梅毒、淋疾
皮膚病
市原卯太郎
市原陸郎
市原三三男
平町田町本通
市原醫院
（入院隨時）
電話一一四番

小供洋服生地

今夏の新柄が澤山揃いました
相かはらず御用命の程
御願い申します

各女學校御用達
平町田町
ハシモトヤ糸店

◎◎◎◎◎◎◎◎◎
根本園の新茶賣出し
四月廿二日より
香味馥郁たる新茶正に千金の値打あり長壽を欲する御人は召し上れ御早く
◎新茶は（ウイタミン）含有す多量に
平町四丁目
根本園茶店


香味佳良
根本園の茶
卸小賣

夜間診療

胃腸
内科　十二指腸虫病
專門
内科部

花柳
淋病　婦人病　皮膚病
專門
外科部

松村胃腸性病科醫院
（平南町電話一〇七番）

内臟外科
骨關節外科
整形外科
産科
婦人科
專門　藤本順
院長　木村寅次郎
外科
婦人科
平町新川町
木村醫院
電話一六四番

平町議選いよ〳〵本舞臺

選擧民を賣り歩く 民政派の幹部

之れ所謂惡女郎の深情け

平町の選擧異聞

平町會議員選擧は餘す處二日間今や運動は猛烈の極致に達し其の運命は畧は決せられたものの樣である、民政黨側は約十名の候補を出し大行にも立憲民政黨公認候補」なる振れ出しで町會選擧としては曾つて見ざる自治の政爭化氣分を煽り立て心ある者の心膽を寒からしめてゐる民政派が之れにも優る物笑ひの種を蒔き選擧民から極度に

反感を購つてゐる事

實がある即ち民政派は此の改選に自派より過半數の議員を送り平町政を意中の儘に蹂躙せんとの仕組から質よりは數を第一主義に片つ端から『公認』の名の冠を附して多分に恩を被せたが目的とする半數までには猶ほ遠く折角の計劃も畫餅に終らんとする昨今に至り一生一代の智惡を絞り集めた結果同黨幹部の某々三氏が中立組の候補者を歷訪し

當方は投票が餘つてゐるから若し不足とあらば二十や三十位の御手傳ひも辭さない、遠慮なく申し付けて慾しい

等と所謂惡女郎の深情け式の安價な親切の押し賣りをなしてゐるが之れはその候補者の心底を試し當選の曉き誘惑の方辯にする爲めの卑怯手段であつて之の訪問を受けた中立候補は

甚だ迷惑千萬の次第で斯んな連中の親切の押賣りは眞ツ平御免だ、瓦となつて全かるより玉となつて碎くるとも御仲間入りだけは御免を蒙りたい

と其の惡らつ卑怯さに呆然たるものあり一方之れを聞いた選擧民等は我々の權利を恰も物件扱ひにし之れを以て醜き野望を遂げんとするは有權者を愚弄するも甚だしきものとして極度に憤慨してゐる模樣である

初夏の好晴に惠まれ 關東北庭球大會

參加實に七十組 榮冠は仙鐵へ

磐城軟球協會主催第二回關東北庭球大會は昨二十六日午前九時より開催したこと昨報の通りだが朝來曇天に氣遣はれてゐたが絕好の晴天となり數百名の見物人に賑つた、試合スコアは左の如し

Aコート（準々決勝）
（入山炭礦）（東京クラブ）
佐々木　○―四　阿部
佐藤　　　　　　野田
（東鐵）　　（仙鐵）
東山　三―四　後藤
松井　　　　　小島
（準決勝）
（東京クラブ）（仙鐵）
阿部　○―四　後藤
野田　　　　　小島

Bコート（準々決勝）
（鐵道省）　（東鐵）
內山　一―四　大山
小野田　　　　佐々竹
（東京五月）（仙鐵友）
飯塚　二―四　島
三井　　　　　門馬
（準決勝）
（東鐵）　（仙鐵友）
大山　二―四　島
佐々竹　　　　門馬

の戰蹟で仙鐵と仙鐵友の決勝となるのであるが仙鐵友棄權し仙鐵組優勝となり優勝旗授與され午後四時半盛會裡に散會した

佐々木龍若氏

政見發表演說

佐々木龍若氏は明二十八日午後七時より仲間町と四軒町との二ヶ所で政見發表演說會を開くが辯士は佐々木候補の外縣議鈴木辰三郎大河原茂平氏その他であると

高橋龜松氏の 當選を妨害

某々等を告訴

白銀町候補高橋龜松氏は立候補以來熱心な區民の結束と隱れたる同情により勢力著しく挽回し今後警戒さい怠らねば當選疑ひなき絕對安全の城に到達し應援の人々は意氣健昂たるものあるが同氏の此の優勢を羨望する反對派の連中は如何にかして高橋氏を窮地に陷れんと凡ゆる惡宣傳を試み殊に同氏が恰も選擧違反行爲が發覺し警察當局の取調べを受けたもの丶如く全然虛僞の宣傳をなすものあるので同氏の迷惑甚だしく之れは同氏の當選を妨害する爲め故意の宣傳なりとし當選妨害として某々等を告訴する事となつた

藺相場放送

四倉市場の開場

石城郡四倉町藺市場の開設は昨報の如くであるが來月十日開設當日より仙臺放送局では午後九時四十分の天氣豫報後春秋錠ゝ藺相場を放送する筈である

石城、田村の 信用組合會

けふ舊郡衙で

石城、田村二郡に於ける三十ヶ所、信用組合聯合協議會は二十七日午前十時から平町元郡役所に於て開會縣から小松農林主事、池田聯合會會長、吉野專務出席した

添寢の母親

誤つて兒を壓殺

石城郡磐崎村三井炭礦坑夫三船惣太郎妻イシ（三四）は二十四日男子を分娩し添寢中誤つて乳房を以つて鼻口を壓し窒息に至らしめたが平署では二十五日橋矢田部長檢死した

井上茂作氏 稍々安全

依賴狀を發送

井上茂作氏は根據とする五丁目、大工町を後進馬目氏の爲めに讓り己れは玉碎を覺悟の上全町の散票を搔き集めて辛じて當選圈內に入らんと努める極めて不利な立場に置かれ隨つて苦戰の程も想像に難くないが若し氏の如き熱心有力なる愛町の士を町會より失ふ如き事あつては平町民の損失であると自覺せる選擧民の聲翕然と集まり今一段の奮鬪を盡せば當選疑ひなき迄で稍々安全の城に到達せんとしてゐるが同氏は自筆を以て左の如き依賴狀の發送準備中である

謹啓　豫而御願申上候通り小生町會議員選擧に立候補仕候處愈々期日切迫と共に非常に苦戰に有之候間此際是非貴下の熱烈なる御同情を賜はり度特に以書中御懇請仕候　匆々敬具

昭和四年五月廿五日
井上　茂作

兒童水泳大會

平校で計劃中

平第一小學校では每年希望者を募つて夏季水泳講習會を小名濱、四倉等の海濱において開催して來たが今年は濱三郡各小學校兒童水泳大會を開催する事となり目下計畫中

磐炭スポンヂ

石城郡內郷村磐城炭礦內の三十組からなるスポンヂ野球大會は六月二日に延期された

平校の記念日

平第一、第二小學校ではけふの海運記念日をトし各校庭に於て運動會を催した

移民講演會

北海道廳の主催

北海道廳の移民募集は各地に於て活動寫眞、講演等をなし大いに開拓の意義を鼓吹し好成績が收めてゐるが來る六月中旬には石城郡上下小川小學校に於て活動寫眞、講演等をなす筈である

殊に甚大なる 片濱の被害

平監督所全力を擧げ 復舊工事を急ぐ

平土木監督所では縣土木課遠藤、齋藤技師出張し所員を督勵して管內の水害被害地を調査してゐるが植田方面は鮫川沿岸が最もひどく浸水すれば更らに被害は多い見込である濱通方面は小名濱江名間の仲の作地內の山が崩壞し海中に突き出たゝめ交通全く杜絕し舟を以つて通行してゐる狀態で同所では數十名の技手、人夫を出張せしめ徹夜復舊工事を急いでゐるが海水のため非常の難工事で復舊までには約一週間を要し工費三千圓を費す見込である

瀧澤氏優勢

當選圈に入る

瀧澤後平氏は立ち遲れの關係と根據なく果して何處の邊まで漕ぎ付けるやを疑問とされてゐたが仲間町、城山方面に可成りの得票あり勢力好轉の模樣で當選圈に入つたらしく豫想されてゐる

石城郡下學校の 兒童聯合唱歌會

來る六月一日平校で

平第一校の主催

平町第一小學校が主催する石城郡下小學校兒童聯合唱歌會は來る六月一日午前九時より午後に亙り平町第一小學校講堂に開催される筈であるが平第一校の齊唱「磐城寺の狸囃子」尋常科四年生鈴木洋一郎君外九名二部合唱「花」尋常科六年生新田目正夫君外十九名、三部合唱「よろこび」高等科一年生中村芳郎君外二十六名、平第二校の遊戲「キユーピーさん」「かたつむり」尋常科一年生根本ツネ子さん外十名獨唱「春の歌」尋常科六年生阿部英子さんその外參加學校三十校兒童七百人唱歌、童話、遊戲等六十五番あり當日までには尙多數に上る見込で盛會を豫想されてゐる

青沼氏勇躍

猶ほ努力を要す

青沼銈太郎氏は地盤とする城山が可成り他候補の爲め蠶食され殊に或る一派の逆宣傳が可成り不利を招ぎ苦戰の狀態であつたが流石に靑沼氏だけ隱れたる地盤と味方があり萬一にも懸念はあるまいが更らに一段の努力を要す事であろう

宇佐美氏

勢力侮り難し

田町より起つた宇佐美友二郎氏は據る處少なく其の勢力は當初全く未知數にたかれたが同氏は或る意味に於て風變りな選擧運動方法と更らに候補者中最少年者と云ふ所に面白い人氣を受け最近の勢力侮り難きもありと觀られてゐる

根本品藏氏

新川町に進出

月見町公認根本品藏氏は根據とする月見町が僅か六十票內外の少數に止まつてゐるので非常に苦せんを傳へられたが新川町の有力家某々氏の隱れたる援助があり新川町より相當の收穫あるらしく勢力優勢を傳へられてゐる

滑津川は渡船

石城郡高久村地內滑津橋流失のため同村消防手は共力し舟を以つて通行の便を圖つてゐる

河野課長上京

平町上水道起債に對する國庫補助並に縣補助支給をうける關係から平町河野水道課長は昨二十六日上京內務省に出頭取敢ず國庫補助額の査定を受ける筈である

◁◁◁◁◁◁宙に迷ふ戀文

合計二百五十に余る

平局の迷子郵便

平郵便局に於ける本年一月から去る二十五日までの不能還付郵便即ち宛て先き不明として配達不能となり之れを返送するにも出人不明の爲め其の儘局に保管して置くものが書狀八十通、ハガキ百七十二通の多きに達してゐるが書狀の半分はなまめかしいラブレターのもが多く切角の思ひを込めて捧げる玉章も宙に迷つてゐる譯であるが之れらハガキは二ヶ月間止置きの上で燒却し書狀は仙臺本局に輸送し本局では中味を調査してこれまた燒却し有價物等は國庫に納入するものであると

選擧立會人決定

本日左の四氏に

平町會選擧は來る三十日午前六時より午後七時まで舊平商業學校に於て執行されるが選擧開票立會人は二十七日左の如く決定した

會川卯三郎、星野淸吉、山野邊義政、眞木桓

平選擧事務

各係分擔決す

平町會選擧事務分擔は二十七日左の如く決定した

（投票用紙交付係）遠藤長誠、大河原金之助、香野利一（庶務名簿對照）酒井寅之助、同花澤文庫（名簿對照係）遠藤五三二郎、渡邊太次郎、佐藤伊太郎、鈴木丑松、草野三郎、伊坂道雄、西野源次郎、松本新治郎、山崎金作、山野邊逐卓、小野崎眞太郎、須藤鶴之助（受付係）渡邊佐七、渡邊美登、渡邊源彌、岩立淺藏、古川淸水吉田政吉（投票所取締）江尻幸平、鈴木武彌、木村忠卯（投票所入口取締）髙倉豐、菅原正作、西潟德次郎、本名鱗太郎、鈴木四郎、渡邊政壽、柴田道太郎（使丁）金成留吾、鈴木長次、高崎基、鈴木己之太郎、柴野爲次郎（給仕）金子保、大塚和子

公賣公告

茨城縣多賀郡松原町字高萩千六百三十一番地
滯納者　筒井　唯一
東京市神田區岩本町六番地
同上　都築　國內
東京市赤坂區仲ノ町七番地
同上　篠崎　士郎
大正十一年八月貳日福島縣採掘登錄第參貳貳號
福島縣石城郡箕輪村永戸村地內
石炭鑛區四拾七萬七千百坪
採掘鑛業權

右國稅滯納ニ付キ前記財產昭和四年六月六日午前十一時平稅務署ニ於テ入札ヲ以テ公賣ニ付ス買入望人ハ當署ニ就テ詳細承合ノ上入札ヲ爲スベシ

昭和四年五月二十六日
平稅務署長

平局舍着工

技手二名來平

平郵便局の改築は何の彼のと滿一年を過ぎたが愈々着工の運びになり請負者丸山組は本省から下附された設計圖を基本に敷地の地割をなし工事準備を急いでゐるが二十四日遞信省技手二名が監督に出張した

濱三郡ボール

双葉郡久之濱小學校主催の濱三郡方形デットボール大會は來る六月二日同校に於て開催するが優勝組には優勝カップを贈呈すると

産馬組合議員

石城産馬畜産組合の總代會議員の選擧は去る二十三日執行されたが當選者は左の如くである

（二區）三坂村小野辰彌、澤渡村若松龜吉、永戸村荻野譽男（三區）上小川村草野宇多吉、草野寅伊（四區）川前村矢內安藏、新妻文次郎

小川江の被害

石城郡小川江筋組合江筋の洪水被害は堤防五ヶ所山崩のため通水の障害は約數十ヶ所で總工費約五千圓を要すると

錦村堆肥品評會

石城郡錦村の堆肥品評會は來る二十九日行はるが審査のため郡農會大山技師出張する

磐新塔

四倉前町長の杉原新伍さん、いたつてお人がいゝため議員連から何のかんのと言はれながらも二期八ヶ年をやり通し去る二月末滿期となつた、處が町議連は餘程杉原さんに愛憎をつかして居たものとみえて三ヶ月も過ぎた今日慰勞金の慰の字も口にする議員が無い、たま〳〵寄合でもあつて話が出ると百圓もやるか……位が關の山の冷淡さ然し御本人は好い氣なものでまがよければ再選される位に思つて居た處新妻氏が全員一致で當選、杉原サンびつくり……やうやく目醒めて今度は目の色をかへて任期數日餘す所の議員を歷訪、慰勞金の運動をやつて居るさうだが形勢頗る惡く二百圓位で片付けられそうだとある

かみなり

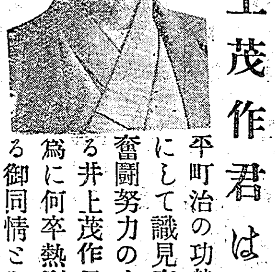
◆檢査なんて、そりや三十前の人だけよ「十で神童廿歲で藝者、三十過ぎれば只の人」と法律に書いてあると辯護士が言つたわ◆ヘン三十過ぎても泊り込み專門に嫁いで、若いもの丶裸足の藝者もあるからね、あんまり大きな口を利くと僞證罪になるぞ。問はれて答へも泣くばかり、一座セキとして聲なく、遠寺の鐘がボーン。ナニ言つてる◆處が若いものは平氣で「淺い川」でも踊る氣で居るから勇敢なものだ「深くなるほど帶を解く、なんて每晚だものアタイなんでもないわ、貫井川で死んだ人さへあるもの」なるほど偉らいね、感心なものだ。ヘン何が感心なものか、イケ圖々しさがさ。

平町會議員候補者
千葉彦治君は

卓越せる手腕と力量と該博なる識見を有し、熱血鬼神を挫く戰鬪の勇者として世既に定評あり

吾人は我が平町千年の礎を建設する爲めに平町會第一の候補者として推薦す、奮つて御援助を願上ます

平町才槌小路　門傳淸吾



平町會議員候補者
井上茂作君は

平町治の功勞者にして識見高遠奮鬪努力の士たる井上茂作君の爲に何卒熱烈なる御同情と御援助を賜り度く紙上を以て懇願仕り候

平町三丁目　柏原幸次郎

三萬町民の公僕トシ
涙グマシクモ立テル
青年候補
綠川喜三郎君
當選ヲ期シタク
義俠アル有權者各位ニ訴フ

平町才槌小路五
石川武八
青年有志

町會議員候補者
佐々木健一郎君は

人格識見に於て平町を代表すべき町會議員として最適任の候補者と存じ推薦仕候間何卒熱烈なる御同情と御援助を賜度く紙上を以て懇願仕候

推薦者　平町才槌小路　前澤文太郎

亡母コン儀葬送の節は御多忙中態々御會葬被下成且つ多大の御香奠を賜り誠に難有奉存候混雜中畧儀以紙上御厚禮申上候

五月廿七日
草野七五三之助
外　親戚一同